委託事業実施内容報告書
平成26年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
【地域日本語教育実践プログラム（B）】

受託団体名：特定非営利活動法人日本ボリビア人協会

1．事業名称　「生活者としての外国人」のための日本語教育通信講座モデル事業～スペイン語版～

2．事業の目的　「教室」への継続参加が困難な外国人を対象に、自宅学習を中心とした日本語教育の機会を提供する。

3．事業内容の概要

◎自宅学習を希望する者に対して、「通信講座」という形式での日本語教育を行う。そのために、
・「生活者としての外国人」のための、通信教育用の日本語教材を開発する
・郵送またはデータの受送信により、通信教育を実施する
・講座受講期間中、定期的なスクーリングまたは個別・グループ相談を行い、学習の進捗や習得状況等を確認する
・本事業を通じて得られた通信講座の成果や課題、今後の展開等について、広く共有するための成果発表会を開催する

4．運営委員会の開催について

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成26年7月23日(水) 18:30～20:30	2時間	アスト津	山田ロサリオ、土井佳彦、西川美帆、岸晴苗、筒井美幸	事業概要、進捗状況、今後の予定	本事業開始から、第1回スクーリングまでの内容を確認。第2,3回のスクーリング日時・内容と事業報告を兼ねたシンポジウムについて。
2	平成27年3月5日(木) 18:30～20:30	2時間	アスト津	山田ロサリオ、土井佳彦、西川美帆、岸晴苗、筒井美幸	事業の成果と課題、今後の予定	本事業全体の成果と課題および今後のの予定について。

5．取組についての報告

〇取組1：通信講座「家で学べる生活日本語～スペイン語版～」

（1）　体制整備に向けた取組の目標　◎日本語の習得：ひらがな、カタカナ、基礎漢字の習得、生活日本語の習得、
◎通信教育システムの構築

（2）　取組内容

◎通信講座（自宅学習）
第1号　ひらがな、あいさつ、小テスト
第2号　カタカナ、日付、時間、値段、小テスト
第3号　買い物時の語彙・表現、小テスト
第4号　娯楽施設の語彙・表現、日本の祝祭日、日本の年中行事、小テスト
第5号　病院・薬局での語彙・表現、医療通訳・多言語問診票、小テスト
第6号　緊急時・災害時の語彙・表現、避難準備情報、防災メール、小テスト

◎スクーリング
進捗状況の確認、学習者からの質問対応、学習アドバイス等（初回と最終回に確認テスト実施）

（3）　対象者　三重県・愛知県在住の外国人（スペイン語圏）

（4）　参加者の総数　21　人

出身・国籍別内訳

中国	人	インドネシア	人	
韓国	人	タイ	人	ボリビア　20人
ブラジル	人	ペルー	人	チリ　1人
ベトナム	人	フィリピン	人	
ネパール	人	日本	人	

（5）　開催時間数（回数）　22　時間　（全　10　回）

（6）　取組の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍（人数）	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成26年6月15日 10:00-12:00	2時間	アスト津	19人	ボリビア (18)、チリ(1)	スクーリング1	開校式、講座説明、プレイスメントテスト	岸晴苗、西川美帆	山田ロサリオ
2	平成26年7月12日 10:00-13:00	3時間	アスト津	19人	ボリビア (18)、チリ(1)	第1号添削	添削、コメント	岸晴苗、西川美帆	山田ロサリオ
3	平成26年8月10日 10:00-13:00	3時間	アスト津	19人	ボリビア (18)、チリ(1)	第2号添削	添削、コメント	岸晴苗、西川美帆	山田ロサリオ
4	平成26年9月13日 10:00-12:00	2時間	アスト津	19人	ボリビア (18)、チリ(1)	第3号添削	添削、コメント	岸晴苗、西川美帆	山田ロサリオ
5	平成26年9月7日 10:00-12:00	2時間	アスト津	15人	ボリビア (14)、チリ(1)	スクーリング2-1	確認テスト（口頭）、会話練習、質疑応答	岸晴苗、西川美帆	山田ロサリオ
6	平成26年9月27日 10:00-12:00	2時間	エルカンバ	4人	ボリビア(2)、 チリ(0)	スクーリング2-1	確認テスト（口頭）、会話練習、質疑応答	山田ロサリオ	なし
7	平成26年10月12日 10:00-12:00	2時間	アスト津	15人	ボリビア (14)、チリ(1)	第4号添削	添削、コメント	岸晴苗、西川美帆	山田ロサリオ
8	平成26年11月15日 10:00-12:00	2時間	アスト津	14人	ボリビア (13)、チリ(1)	第5号添削	添削、コメント	岸晴苗、西川美帆	山田ロサリオ
9	平成26年12月21日 10:00-12:00	2時間	アスト津	10人	ボリビア(9)、 チリ(1)	スクーリング3	閉校式、アチーブメントテスト、アンケート	岸晴苗、西川美帆	山田ロサリオ
10	平成26年12月21日 13:00-15:00	2時間	津センターパレス	11人	ボリビア (10)、チリ(1)	第6号添削	添削、コメント	岸晴苗、西川美帆	山田ロサリオ

（7）　参加者の募集方法

アスト津、津センターパレス等でのチラシ配架、自団体facebookページ、自団体ホームページ、電話・メール等での呼びかけ。＊チラシ別添

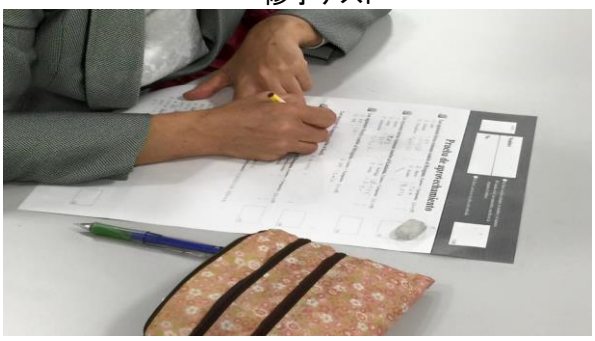
（8）　特徴的な活動風景（2～3回分）

第1回スクーリング

提出課題　採点風景

通信教材　送付作業

修了テスト



（9）　取組の目標の達成状況・成果
①日本語力
受講者数　21名（うち、修了者数20名）
本コースでは、ひらがな・カタカナの読み書きから始まり、生活に必要な4つのテーマ（買い物、娯楽、病院・薬局
緊急時・災害時）に必要な漢字・語彙や表現、知識などの習得を目指した。それらをコース開始前後に筆記試験
で理解度を測ったところ、受講者全員に理解度の向上が見られた。（下表参照、＊2014/12/21時点）

受講者	開始時（/100）	終了時（/100）	受講者	開始時（/100）	終了時（/100）
A	6	31	L	0	41
B	0	－	M	10	63
C	8	－	N	6	－
D	6	－	O	14	－
E	9	41	P	40	70
F	21	57	Q	17	55
G	0	－	R	6	－
H	0	－	S	10	－
I	0	39			
J	5	3			
K	3	34			

②アンケート結果　（N=11）
Q1.月に何時間ぐらい勉強しましたか。
・平均10．1時間（最短1時間～最長40時間）
Q2.とくに役に立った内容はどれでしたか？（3つまで）
第1号（ひらがな）ー7人　　第2号（カタカナ）－9人
第3号（買い物）　ー3人　　第4号（遊び）　ー2人
第5号（病院）　ー6人　　第6号（安全）　ー3人
Q3.その他（自由意見）
・テキストの内容をよりよくするために、教材開発の場に学習者も入れてほしい。
・最初だけでなく、すべてにスペイン語の説明があると理解しやすい。
・スクーリングをできれば毎月やっていただけたらと思う。

（10）　改善点について
・コース開始前後の理解度確認手段が筆記試験のみ、かつ日本語力のみであった。今後は口頭能力や
社会知識等についても測定していきたい。
・コース途中から受講を希望する人がいたので、いずれは開始時期も柔軟に対応できるような体制を
整えていきたい。

○取組2：通信講座用教材「家で学べる生活日本語～スペイン語版～」の開発
（1）　体制整備に向けた取組の目標　通信講座「家で学べる生活日本語～スペイン語版～」で使用する専用テキストを開発する。
（2）　取組内容
◎通信講座（自宅学習）
第1号　ひらがな、あいさつ、小テスト
第2号　カタカナ、日付、時間、値段、小テスト
第3号　買い物時の語彙・表現、小テスト
第4号　娯楽施設の語彙・表現、日本の祝祭日、日本の年中行事、小テスト
第5号　病院・薬局での語彙・表現、医療通訳・多言語問診票、小テスト
第6号　緊急時・災害時の語彙・表現、避難準備情報、防災メール、小テスト
◎スクーリング
進捗状況の確認、学習者からの質問対応、学習アドバイス等（初回と最終回に確認テスト実施）

（3）　対象者　　三重県・愛知県在住の外国人（スペイン語圏）
（4）　参加者の総数　　21　人
出身・国籍別内訳

中国	人	インドネシア	人	
韓国	人	タイ	人	ボリビア　20人
ブラジル	人	ペルー	人	チリ　1人
ベトナム	人	フィリピン	人	
ネパール	人	日本	人	

（5）　開催時間数（回数）　16　時間　　（全　3　回）

（6）　取組の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍（人数）	取組のテーマ	内容	講師等氏名
1	平成26年4月8日(火) 10:00～17:00	6時間	ベネッセ本社会議室	4人	日本(3人),ボリビア(1人)	通信教材のシラバス、構成、テーマ等	再委託費・内容の確認、通信講座用教材全体のシラバス等について	中原茂樹、石井丈司、山田ロサリオ、土井佳彦
2	平成26年5月1日(木) 10:00～17:00	6時間	アスト津	4人	日本(3人),ボリビア(1人)	通信教材のシラバス、第1,2号内容等	シラバスの確認、第1,2号の内容、ページデザインについて	中原茂樹、石井丈司、山田ロサリオ、土井佳彦
3	平成26年10月7日(火) 11:00～16:00	4時間	ベネッセ本社会議室	4人	日本(3人),ボリビア(1人)	第1～3号の改善点、修了テスト等	第1～3号の修正・改善点、修了テスト、等について	中原茂樹、石井丈司、山田ロサリオ、土井佳彦

（7）　参加者の募集方法

とくになし（主催者＋再委託先のみ）

（8）　特徴的な活動風景（2～3回分）

第1回教材作成会議の様子

教材（第1号）

（9）　取組の目標の達成状況・成果

予定通り、1～6号を完成させた。

（10）　改善点について

スペイン語訳に一部翻訳ミスが確認された。今後の学習テーマについては、学習者へのヒアリング等を参考に検討していく。また、教材作成に関わってもらえる人を増やしたい。

〇取組3：シンポジウム「もう一つの日本語教育の可能性～通信講座の成果と課題～」

（1）　体制整備に向けた取組の目標

・本事業の成果と課題を広く地域日本語教育に携わる者（自治体、国際交流協会、NPO/NGO、日本語教育機関関係者、日本語ボランティア、在住外国人等）と共有する
・今後の日本語教育通信講座の継続発展に向けて、改善点等を得る

（2）　取組内容

・開会あいさつ（日本ボリビア人協会代表理事：山田ロサリオ）
・日本語教育通信講座について（日本ボリビア人協会日本語教育事業担当：土井佳彦）
　開発経緯、本事業の取組み、成果と課題、今後の展望
・実施・開発協力者および利用者の感想（講師、教材開発者、通信講座受講者）
・参加者との意見交換
・閉会あいさつ（日本ボリビア人協会代表理事：山田ロサリオ）

（3）　対象者

（4）　参加者の総数　18　人

出身・国籍別内訳

中国	人	インドネシア	人	
韓国	人	タイ	人	
ブラジル	人	ペルー	人	
ベトナム	人	フィリピン	人	
ネパール	人	日本	18人	

（5）　開催時間数（回数）　3 時間　（全 1 回）

（6）　取組の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍（人数）	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成27年2月22日（日）14:00～17:00	3時間	アスト津	18人	日本（18人）	本事業の成果と課題の共有および今後の展開について	団体紹介、日本語事業概要報告、通信講座の成果と課題、意見交換		

（7）　参加者の募集方法

アスト津、津センターパレス等でのチラシ配架、自団体facebookページ、自団体ホームページ、電話・メール等での呼びかけ。＊チラシ別添

（8）　特徴的な活動風景（2～3回分）

登壇者による事業報告

参加者同士の意見交換

（9）　取組の目標の達成状況・成果

・在住外国人の人たちの生活の一部を知ることができて大変良い機会になりました。この催しをマスコミ等で取材をしてもらい、広く県民の人たちに知らせることができればもっと良いのではないでしょうか。ここに来られなかったボリビアの方や日本の一般県民の人たちが、こうした活動を少しでも知ることができると思います。

・できれば（テキストを）全号いただければ全体がよくわかったと思いました。これからもっと広く、通信教育の利用について考えたいと思います。

・地域の方々（ボランティア）が協力・参画できる仕組みがもう一つ加わると、より多文化共生の基盤づくりに近づくのかなと思います。三重県・愛知県の既存の日本語教室と、今後どうつなげていくか興味があります。通学の教材としても活用されるのではないかと思います。

・通信講座がもっと他の地域に広まっていくことを期待したいです。ボリビア人協会だけでなく、他の団体さんと協力して、他の言語でもできるといいなと思います。

・私は外国語をなるのが趣味のような者ですが、テキストが薄いのは非常に良いと思います（いつでも、どこへでも持って行ける）。説明は多いほうが、理解しやすい人とそうでない人と個人差があると思うので、副教材で何種類かあると良いと思います。

・勉強になりました。

・学んだことをリアルに使う場をうまくつくれるといいと思う。文法がハードルになるなら、文法学習しないなど思い切った工夫をしてみるといいのでは？おもしろかったです。

・日本語教室に来られない外国人の日本語教育をどうしたらいいのか・・・。一つの可能性としておもしろい報告をありがとうございました。

・テキストが実践的な内容で、日常生活の助けになるだろうと思った。添削のコメントはとても励みになると思う。在日人数に比べ、受講者が少ないので、認知されるよう（各市町村の）広報やケーブルTV、新聞等でアナウンスしたら、習いたくても機会がない人や、この活動を知らない人たちの学習の機会を与えられると思う。

・テキストに興味がありました。できれば、他の冊子もいただけるとうれしかったです。

（10）　改善点について

・事業概要をもっと詳細に、わかりやすくまとめたものにすればよかった。

・もっと多くの方にご参加いただけるよう、広報に努めたい。

6. 事業に対する評価について

（1） 事業の目的

「教室」への継続参加が困難な外国人を対象に、自宅学習を中心とした日本語教育の機会を提供する。

（2） 事業目的の達成状況

（取組1） 受講者21名中、20名がコース全課程を修了した。
また、コース開始前後において、修了者全員が日本語力を向上させることができた。

（取組2）半年間の通信講座に必要な教材を新たに開発することができた。

（取組3）本事業を当該地域内外の方々に周知することができた。

以上から、本事業の目的は達成されたものと考える。

（3） 地域における事業の効果，成果

通信講座という初めての試みにおいて、継続的な教室参加が困難な人に学習機会を提供できたこと、それに必要な教材開発や指導体制の構築、そして成果・課題の共有ができたことから、今後さらに本事業を継続発展することが可能であるという手応えを得たことが最大の成果と考える。

（4） 改善点，今後の課題について

ⅰ 現状

本事業の実施においては特段問題となることはなかったが、今後は以下のような改善が必要である。

ⅱ 今後の課題

今後は、①テキスト内の文法説明等のわかりやすさを向上、②第3号以降に文字の復習を追加、③学習ニーズの高い内容を追加、④教室学習との組み合わせについて検討、⑤冊子以外の学習ツールの開発、⑥多人数への対応、⑦採点者の育成等の必要性がある。

ⅲ 今後の活動予定

来年度以降は、①テキストの改訂、②新しいテーマの追加、③他地域での実施、④教室学習と自宅学習の組み合わせ、⑤音声・動画教材の開発に取り組んでいく。

（5） その他参考資料

別添参照

NPO法人
日本ボリビア人協会
Asociacion de Residentes Bolivianos en Japon

入門コース
受講者募集中！

在日外国人(スペイン語圏)のための

家で学べる!! 日本語通信講座

日本語を勉強したいけど、
教室に行く時間がない！

そんなあなたのために、
月に１回、あなたの家に日本語の
テキストが届きます。

詳しくは、ウラ面を見てください

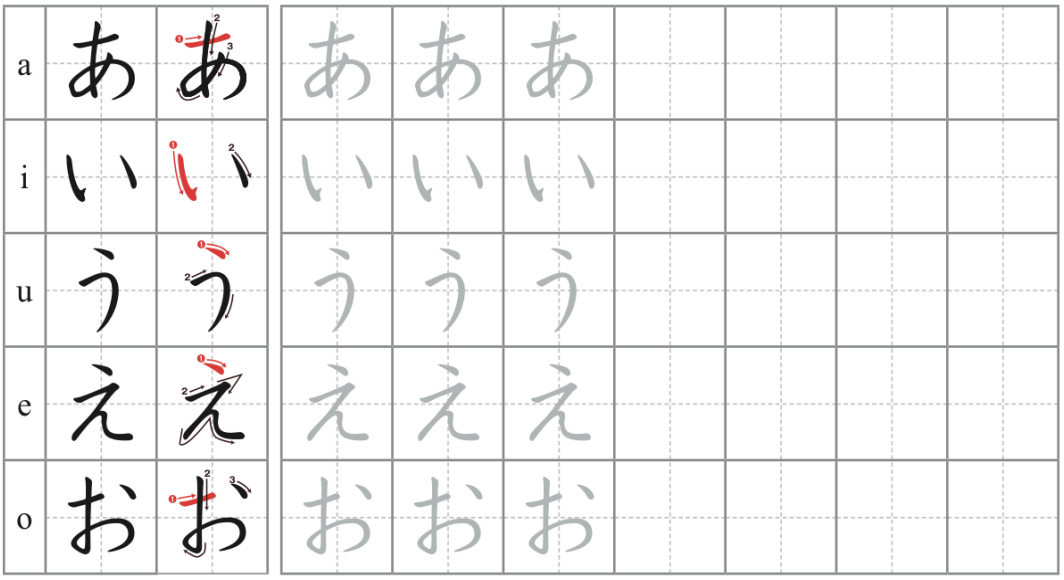
◆毎月 15 日に、あなたの家に日本語のテキストが届きます。

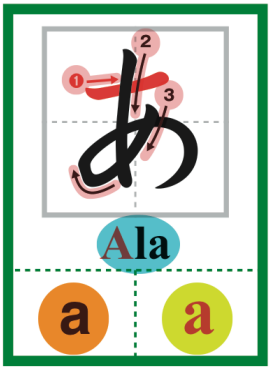
◆好きなところで、自分のペースで勉強ができます。

◆２ヶ月に１回、教室で日本語の専門家に直接質問ができます。

◆宿題を出すと、専門家が添削して返却します。

◆修了テストに合格した人には、修了証をお渡しします。





コースの概要

【期間】2014 年 6 月 15 日～2014 年 12 月 15 日
【内容】①ひらがな
②カタカナ
③簡単な漢字
④会話（挨拶、買い物、レジャー施設、病院・薬局、災害など）
【定員】先着２０名
【費用】全６回　５,０００円（１回あたり、８３３円！）
※申込み時に一括払いでお願いします。途中でやめても
払い戻しはできません。
【スクーリング会場】　アスト津３階　会議室 A,B（予定）

問合せ・申込み

NPO 法人日本ボリビア人協会　代表理事　山田ロサリオ
[Tel] 090-XXXX-XXXX　[E-mail] XXXX@gmail.com

※この事業は、文化庁委嘱事業「平成26年度地域日本語教育実践プログラム(B)」の一環として行います。